

# 『平成26年 橋梁会現場見学会』報告書

高知県橋梁会理事 村田 敦

## 1. はじめに

高知県橋梁会では毎年、現場見学会を行っている。昨年度は6年ぶりに1泊2日の見学会を行った。日帰りとは1泊2日を年ごとに交代で行うことにしている。今年は日帰り。参加者は18名であった。

今年は、瀬戸大橋の一つである、北備讃瀬戸大橋のA1橋台と、広島県福山市に位置する一般国道2号松永道路の平トンネル工事および神村高架橋PC上部工事を見学。その後、しまなみ海道を經由し愛媛県のアサヒビール園西予西条店で親交を深めた。



お世話になった高知駅前観光バス。

## 2. 北備讃瀬戸大橋 見学



本四連絡高速道路(株)山下氏より説明。

瀬戸大橋与島PAにて北備讃大橋の概要説明を本州四国連絡高速道路(株)坂出管理センターの山下氏から受け、巨大なアンカレイジ(A1橋台)の中を見学した。



橋台内を見学したアンカレイジ(A1橋台)。



アンカレイジの南側入口から中へ。

アンカレイジ内部で、瀬戸大橋の着工から施工中の苦労話、現在の瀬戸大橋のメンテナンス技術をパネルやPCケーブルの模型、橋梁模型を使って分かりやすく説明していただいた。

ちなみに、見学したA1橋台のコンクリート重量は、四国四県の総人口の体重の合計に匹敵するそうだ。



アンカレイジ内での山下氏による説明。



瀬戸大橋をバックに記念撮影。



アンカレイジ内からJR線軌道(上空)を望む。



建設前に風洞実験に使用した橋梁模型。

### 3. 一般国道2号 松永道路 現場見学

一般国道2号松永道路の見学では、国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所の舩迫監督官にお世話になり、平トンネル工事と神村高架橋PC上部工事の現場を見学させていただいた。平トンネル工事の現場では、用意されていた資料を使って、舩迫監督官より松永道路の事業計画などを説明していただいた。



舩迫監督官・三浦所長による工事説明。

平トンネル工事は、トンネル工L=247m、掘削断面積A=82.9㎡で坑内掘削を見学した。平トンネル工事を担当されている(株)鴻池組の三浦所長はじめ職員方々には大変忙しい中にも関わらず時間をさいてトンネル坑内の掘削先端を見学させていただいた。運良く、現場入口にて発破の音を聞くことができた。

また、私たちのために防塵マスクを用意していただき、坑内ではトンネル掘削の進め方、重機材についていねいに説明していただいた。



防塵マスクを着用し、トンネル坑内へ。



三浦所長による工事説明。



見学した坑内入口にて記念撮影。

約 10 分のバス移動で神村高架橋 P C 上部工事現場に到着。神村高架橋は P C 4 径間連続ラーメン箱桁橋で、橋長 L=232m、有効幅員が 7.85 ~ 11.726m である。側道から側面景観および P1 ~ P2 径間の P1 側張出架設の橋面・箱桁内を見学した。工事を担当されている㈱フジタの五ノ井所長はじめ職員方々にはコンクリート打設前日にもかかわらず、時間をさいて工事内容、JR 線および県道の上空での工事の苦労話を説明していただいた。私たちのために冷えたお茶まで用意していただいた。



五ノ井所長による工事説明。



JR 線、県道上空でのワーゲン施工。



ワーゲン内での工法説明。

橋面上のコンクリート打設前の配筋、型枠の工夫、ワーゲン機材の説明をていねいにさせていただき、箱桁断面の内部も見学させていただいた。



箱桁断面形状の説明。



P1 側張出架設内で記念撮影。

大変暑い中、トンネル工事とPC上部工事の細部を見学させていただき、大変有意義な現場見学となった。

会員は汗だくになり、火照った身体をバスの冷

房で冷やしながら、しまなみ海道を渡り、アサヒビール園と向かった。

#### 4 . アサヒビール園にて懇親会



ビール園にて会員同士の懇親。

アサヒビール園西予西条店にてジンギスカン鍋とビールに舌鼓を打ち、現場見学の感想を歓談し会員同士の親交を深めた後、高知への帰路についた。

#### 5 . あとがき

今回の現場見学会は晴天に恵まれ、予定通りの見学ができた。熱中症になるのではないかと心配したが、参加者全員が無事過ごせたのが何よりであった。見学した3箇所とも普段なかなか立ち入ることができない場所で、参加者の技術のスキルアップに役立ったと思う。多数の会員の参加に感謝を申し上げる。